

対象国の条件:

研修コース番号:201984364-J002

案件番号:201984364

主分野課題:教育/職業訓練・産業技術教育

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

本研修は、職業訓練校、技術専門学校、工業高校の教師の質的改善に向けて、実践的な指導能力を向上させ、教育と現場技術の格差解消の課題を解決できる人材を育成する。社会基盤となる電気・電子技術分野の人材育成を充実させることによりボトムアップを図り、産業発展に向けた素地を形成することを狙いとする。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

本研修は電気・電子技術分野における教育と、企業現場に必要な基礎技術との格差解消に焦点を合わせ、大学職業訓練校（ディプロマ併設校に限る）、技術専門学校、ポリテクカレッジ工業高校の教師が実践的な電気・電子技術の指導能力を向上させ、企業のニーズにマッチした人材を育成することを目標とする。

【対象組織】

大学職業訓練校（ディプロマ併設校に限る）、高等専門学校、ポリテクカレッジ工業高校

【成果】

1. 日本の産業における電気・電子に関する人材育成、職業訓練、企業内教育や、日本の法規、法令、規則とそれらを遵守するための組織・体制を理解する。
2. 電気・電子・論理・回路、シミュレーション技術、PLC（プログラマブルロジックコントローラ）など電気・電子技術者が必要とする基礎的な要素技術を習得する。
3. 電動機制御、照明、ロボット、再エネなどの要素技術の応用分野を習得するとともに電気電子技術者の職場を理解する。
4. 所属組織の課題を正しく認識し、課題に沿った指導改善案を所属組織に提案できる。

【対象人材】

- <職位>
電気・電子工学分野の指導員クラス。
- <職務経験>
当該分野で2年以上の実習指導経験を有する者。
- <語学能力>
英語で研修を行うに十分な英語力がある者

内容

【事前活動】 当該分野の自国の現状及び所属組織についてレポート等作成。

【本邦研修】

- ・講義、教育施設見学により、日本の職業専門教育の仕組みと法令の枠組みを学ぶ。また、日本の代表的な企業見学により電気・電子技術者の職場をイメージする。
- ・電気実習、電子回路実習、論理回路実習、PLC実習により電気・電子技術の基礎を体得するとともにパソコンを使った電気電子回路及び制御系シミュレーション演習により、実験装置がない場合の実習形態を学ぶ。
- ・電動機応用実習、制御理論演習、ロボットティーチング実習、照明設計演習、再生可能エネルギー講義・見学など要素技術の基本となる応用分野について実践的な研修を行う。
- ・自国、自組織の課題を抽出し、自力行える解決策を整理し、アクションプランを作成・発表する。

本邦研修期間

2019/8～2019/10

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA九州

関係省庁

実施年度

2018～2020

主要協力機関

(公財) 北九州国際技術協力協会

**特記事項
及び
ホームページ**